

ICT利活用による離島高齢者等の見守り・健康管理実証事業

(伊平屋町、伊是名村、渡嘉敷村、座間味村(座間味島、阿嘉島)、
多良間村、竹富町(波照間島)、与那国町)

(構成：参加者、診療所の医師、保健師、参加者の家族等)

《活動主体の概要》

総人口： 人
 高齢者数： 人
 世帯数： 世帯
 産業構造：
 地理的構造：

別紙のとおり

活動のきっかけ

県では沖縄21世紀ビジョン基本計画において、日本の領空、領海、排他的水域の保全など、離島の果たしている役割を評価し、県民全体で離島地域を支える仕組みを構築するとともに、離島住民が住み慣れた島で安心して暮らし続けることができるよう、交通、生活環境基盤、教育・文化、医療、福祉等の分野においてユニバーサルサービスを提供し、定住条件の整備を図ることとしており、その有力な手段となり得るICT施策を推進することで、住民が安心して生活し働くことができる持続可能な地域社会の形成に資するため。

活動方法

<参加者と人数>

下記のいずれかを満たす60歳以上の各島在住者30名

見守りが必要(独居、夫婦共に要介護など)と思われる者

高血圧を有する者(診療室血圧 140/90mmHg、または降圧治療中)

診療所の医師、保健師が適正を認める者

<実施方法>

参加者は、貸与された家庭血圧計を使用し、定期的に自宅で血圧を測定する。測定値は、メディカルリンクに自動転送されデ

ータが蓄積されるため、保健指導者は、インターネットを利用して照会することで、測定結果を参照し保健指導にあたることができる。また、参加者の家族も測定状況や測定結果を参照することができ、参加者の状況を共有することが可能となる。

工夫点

血圧測定継続への働きかけとして、年3回ニュースレターを発行し、血圧測定の意義や血圧に関する健康コラム、各島の参加率と測定使用率を掲載し、参加者及び、参加者の家族、診療所医師や保健師、参加離島の村長及び、担当部署へ配布した。

成果

血圧測定の実施による健康に対する意識の向上

メディカルリンクの利用による血圧データ共有の有効性、健康状態の把握、治療効果の判定

メディカルリンクの利用による診療所医師や保健師、参加者家族の「見守り」効果

課題

本実証事業の実施により上記の成果が得られ、有効性が認められたものの、県事業としては平成27年度で終了するため市

町村への事業引き継ぎが必要となる。

しかし、継続実施する市町村は、7町村中、3村に止まっている。

事業を継続しない島の参加者についても、大学医療機関の支援により当面は継続するものの、やはり行政、診療所、地域が一体となつての実施が望ましく、今後、どのようにフォローアップしていくかが課題である。

代表者、事業者等の声

(沖縄県)

ICT を活用した健康管理機器による離島高齢者等の見守り・健康管理を行う事により、住民が安心して生活し働くことができる持続可能な地域社会の形成を図った。

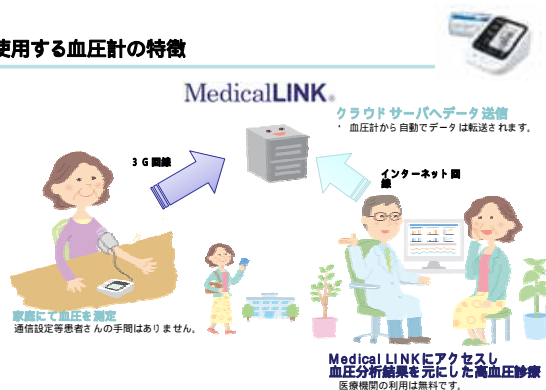
事例として、同様の取組が全国の離島地域に広がることを期待する。

(診療所医師、保健師)

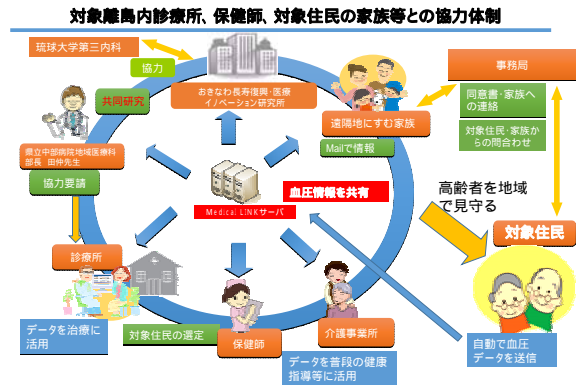
- ・慢性疾患の管理状況の悪い方の把握と病状説明に役立った。
- ・仮面高血圧の方の発見に繋がった。
- ・自身の健康に無関心だった方が、メディカルリンクを使用し始めて以降、少しずつ生活習慣の改善を始めた。
- ・心不全などで細かい血圧管理が必要な方の、家庭血圧を把握でき、治療の早期サポートができています。
- ・室内気温が把握でき、夏場における独居老人の高温環境に気づくことができた。

沖縄県企画部地域・離島課

使用する血圧計の特徴



沖縄県企画部地域・離島課



自動で送信されたデータを、島内診療所医師、役場保健師、介護事業所等が共有。高い値が出た場合や測定期間がしばらく空いてしまったとき(安否確認が必要なとき)などにメールにて通知する設定も可能

健康管理に役立てるとともに、測定する行為が安否確認となる。

また、遠隔地に住む家族もデータを閲覧できるとともに、メールでの通知を受け取ることもできる。

血圧の測定値を通じて、家族とのコミュニケーションが増える他、診療所、保健師などから見守られている安心感に繋がる。

2. 活動主体の概要

	総人口	高齢者数	世帯数	産業構造	地理的構造
伊平屋村	1,385	349	523	第1次産業21.9%、第2次産業18.6%、第3次産業58.8%の産業構造となっている。	沖縄県の有人島としては最北端にあり、那覇市の北方117km、今帰仁村運天港から41.1kmに位置し、伊平屋島、野甫島からなる。
伊是名村	1,589	454	699	第1次産業26.0%、第2次産業21.2%、第3次産業52.7%の産業構造となっている。	那覇市の北西95.4km、今帰仁村運天港の北27.8km地点に位置し、主島伊是名島を中心に南に屋那覇島、北に具志川島、東に降神島の3つの無人島からなる。
渡嘉敷村	756	146	427	第1次産業5.8%、第2次産業19.2%、第3次産業75.0%の産業構造となっている。	那覇市の西方32kmに位置する渡嘉敷島、前島が有人島で、儀志布島、ナガンヌ島、ウン島、神山島、中島などの無人島を含めた大小10余りの島々からなる。
座間味村 (座間味島、阿嘉島のみ)	865 (810)	201 (193)	459 (430)	第1次産業2.5%、第2次産業4.8%、第3次産業92.6%の産業構造となっている。	那覇市の西方約40kmに位置し、有人島である座間味島、阿嘉島、慶留間島の3島と、無人島である外地島、久場島、屋嘉比島、安室島、安慶名敷島、嘉比島の6島の計9島からなる。
多良間村	1,227	322	496	第1次産業45.1%、第2次産業12.1%、第3次産業42.6%の産業構造となっている。	那覇市の南西約320kmに位置し、多良間島、水納島からなる。
竹富町 (波照間島のみ)	3,859 (499)	797 (147)	2,000 (222)	第1次産業17.9%、第2次産業6.6%、第3次産業69.4%の産業構造となっている。	日本最南端に位置し、東西約42km、南北約40kmの広範囲に点在する大小16の島々からなる。
与那国町	1,657	321	713	第1次産業15.6%、第2次産業21.2%、第3次産業63.2%の産業構造となっている。	日本最西端に位置し、那覇市から南西へ509km、石垣市から117km、台湾から111kmの位置にある。

<参考文献> 平成22年国勢調査、離島関係資料(平成27年1月)、過疎地域自立促進市町村計画

(単位:人、世帯)